

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	123+N布施店増改装工事	階数	地上3F
建設地	大阪府東大阪市長堂	構造	S造
用途地域	近隣商業地域、防火地域	平均居住人員	500 人
地域区分	5地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集会所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年3月 予定	評価の実施日	2019年7月16日
敷地面積	6,432 m <sup>2</sup>	作成者	株式会社 岩橋設計 岩橋 重文
建築面積	1,438 m <sup>2</sup>	確認日	2019年7月16日
延床面積	4,318 m <sup>2</sup>	確認者	株式会社 岩橋設計 岩橋 重文



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 0.8** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.5**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア= 2.8

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.9

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 1.8

**LR のスコア = 3.3**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.5

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.1

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合	バリアフリー新法について、望ましいレベルを満たしており、屋外・広告物照明についても考慮されており、周辺地域に対して配慮が十分にされいる	その他 特に無し
Q1 室内環境	建築基準法を満たしており、JIS・JAS規格をほぼ全面に満たした建材を使用している	Q3 室外環境(敷地内) 出来る限りの緑地を計画し、防犯カメラの設置で防犯性に配慮している
LR1 エネルギー	BPI <sub>m</sub> =0.79 BEI <sub>m</sub> =0.74	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO <sub>2</sub> 排出率=82% 光害ガイドラインチェックリスト、広告物照明配慮事項の過半を満たしている
Q2 サービス性能	耐用年数の高い配管材、外壁材、内装材を使用し、バリアフリー計画について望ましいレベルを満たしている	
LR2 資源・マテリアル	節水コマ、節水型便器の採用により、節水に配慮している	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

# 大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H31-0062

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	123+N布施店増改装工事					
	建設地	大阪府東大阪市長堂					
	用途/区分	集会所 工場					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					B-	
①	CO2削減					4	
②	みどり・ヒート アイランド対策					2	
③	建物の断熱性					5	
④	エネルギー削減					4	
⑤	自然エネルギー直接利用					—	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—

## エネルギー消費量の報告

### 【評価項目】

項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	3.7	4
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	1.0	2
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	3.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	3.0	
③ 建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	5.0	5
④ 設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	4.2	4
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	3.0	—
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	報告しない

### その他

	技術の名称	考慮事項
先進的技術の導入		
特に配慮した事項		